

第7期北九州市障害福祉計画・第3期北九州市障害児福祉計画の
目標等の管理シート

担当部局

保健福祉局 障害福祉部

成果目標

(8) 発達障害のある人等に対する支援の充実・強化

計画（P）↓実施（D）

目標値

○令和8年度末までの目標値

発達障害のある人のライフステージを通して一貫した支援を実施する体制の構築や、強度行動障害支援の体制整備を進めることを目標とする。

【目標値の考え方】

発達障害のある人等の地域生活の安定及び福祉の向上を図るため、発達障害のについての普及啓発や、発達障害者支援センターの運営（委託）、発達障害者支援地域協議会の開催等を通して、成人後までの支援体制の構築を図ります。

また、強度行動障害については、発達障害者支援地域協議会において令和3年度に実施した実態調査の結果を踏まえて支援体制の整備を進める。

計画（P）↓実施（D）

活動指標（内容）

			R 6	R 7	R 8
発達障害者支援地域協議会の開催	開催回数	見込	2 回	2 回	2 回
		実績	2 回		
発達障害者支援センターによる相談支援	相談件数	見込	3,700 件	3,700 件	3,700 件
		実績	2,314 件		
発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの関係機関への助言	助言件数	見込	30 件	30 件	30 件
		実績	64 件		
発達障害者支援センター及び発達障害者地域支援マネジャーの外部機関や地域住民への研修、啓発	研修、啓発件数	見込	32 件	32 件	32 件
		実績	46 件		
ペアレントトレーニングやペアレントプログラム等の支援プログラム等の受講者数	受講者数	見込	11 人	11 人	11 人
		実績	8 人		
	実施者数	見込	5 人	5 人	5 人
		実績	8 人		
ペアレントメンターの人数	人数	見込	18 人	18 人	18 人
		実績	18 人		
ピアサポートの活動への参加人数	人数	見込	40 人	40 人	40 人
		実績	31 人		

評価 (C) ↓ 改善 (A)	R 6 年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	令和 6 年度は、令和 5 年度に設置したワーキンググループの検討結果を踏まえ、発達障害者支援センター「つばさ」が発達障害児者の支援を行っている支援機関の情報を取りまとめた「発達障害児者のための支援機関ガイド」の作成に着手した。 また、発達障害児者支援に関する支援者（コーディネーター等）の交流機会を確保するため、障害者自立支援協議会を活用して「多職種交流会」を 3 回開催した。 強度行動障害児者支援については、アウトリーチ支援体制の構築に向けてモデルケースを試行的に行った。さらに、強度行動障害児者への支援状況を把握するため、障害福祉サービス等事業所を対象に「強度行動障害支援（研修等）に関するアンケート」を実施した。 今後も発達障害者支援地域協議会で、発達障害児者への支援の方策や強度行動障害への支援体制（緊急時を含めた支援の基盤整備や、支援者向け研修、実態把握、事例検討等）について協議を続け、各支援を具現化できるよう取り組んでいく。
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	
		改善 (A) 【次年度における取組等】	
評価 (C) ↓ 改善 (A)	R 7 年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	
		改善 (A) 【次年度における取組等】	
評価 (C) ↓ 改善 (A)	R 8 年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】	
		協議会等意見 【評価等に対する意見】	

		改善 (A) 【次年度 における 取組等】	
--	--	-----------------------------------	--